



RALLYSAFE ラリーカー 取り付けキット マニュアル

## RallySafe® 取り付けキット用マニュアル：ラリーカー

### \*\*製品免責条項\*\*

"Status Awareness Systems 社と RallySafe 社がリリースしました本マニュアル、仕様並びにその内容につきましては、ご参照目的に限ります。開発が継続しておりますので、内容並びに仕様が告知なしに変更されることがあります。RallySafe 社並びに本件に携わった企業は、本マニュアルや提供された情報について責任を負いません。

本マニュアルに含まれる内容は、著作権等の知的所有権によって保護されています。本仕様に含まれる内容の商用利用につきましては、当該知的所有権に対するライセンスが必要となります。

本マニュアルは、参照目的に限り、何らかの形式、何らかの手段で、修正を加えずに利用、複製することができます。その他の用途につきましては、RallySafe 社が書面にて許可しない限り、いかなる形、いかなる手段においても、本仕様のいずれの箇所も、利用・複製できません。

用語『並びにロゴ RallySafe は、登録商標されています。』

## RallySafe® 取り付けキット構成部品

RallySafe 取り付けキットに含まれるものは次の通りです：

- RallySafe 設置並びに取り付けキット説明書；
- リード付 3-in-1 アンテナ (発注時にリードの長さ並びにボルト付け(推奨)或いは貼り付けを選択)；
- リード付内臓無線アンテナ (発注時にリード長さを選択)；
- プラグ付 6-24V 配線織機 (発注時に長さを選択。組立地点に予備ケーブル分 300mm を確保すること)；
- ダッシュボードからボルト付けするボールジョイント 25mm 付取り付け台、ロールケージ或いはフラットタイプ；
- 調節可能な組立コネクター／ナックル (発注時に長さを選択)。



(内容物は写真と多少異なることがあります)。

注：RallySafe のディスプレイユニットは取り付けキットの一部ではないため、書類検査或いは車検にて入手可能です。

## 電力供給 12 ボルト (ご熟読ください)

RallySafe は、9 ボルトから 28 ボルト DC まで継続的で安定した電力供給を必要とします。皆様の安全と作動継続のためには、ユニットが必ずバッテリーのプラス端末或いは遮断スイッチのプラス側でスイッチ非連動供給に接続されていなければなりません。常に電力がユニットに供給されているようにしてください。点火スイッチ電源供給を使用しないでください。

5 amp(最大)ブレードタイプ或いは同等品質のヒューズを、RallySafe 社電源ケーブルのバッテリー供給の末端に使用しないでください。

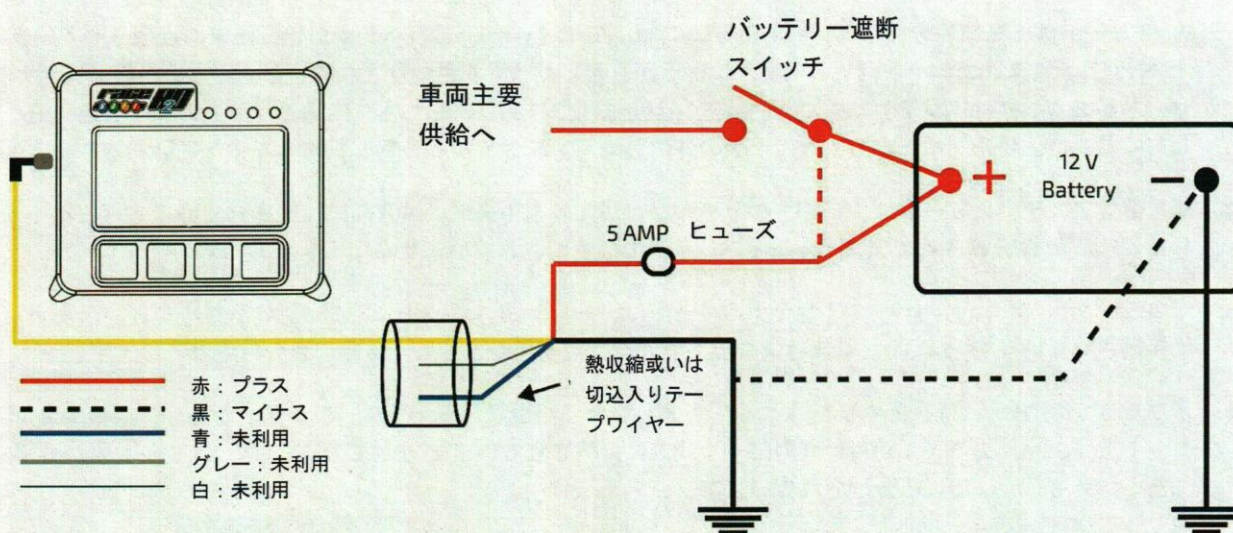
**遮断スイッチがバッテリーのマイナス側をオンにしなければ、ゼロボルト或いはマイナスバッテリーを、適切な接地点で使うことができます。**

RallySafe のユニットは、車のパワーサプライ経由で充電し続ける内臓バッテリーを有します。車のパワーサプライが中断される事故の場合、即ち、車のバッテリーが打撃を受けるか外れた場合、ユニットに電力供給する予備供給として作用します。

RallySafe のユニットが動きや位置を感知するため、5分間動きがないことを検知すると自動的に節電/スリープモードに入ります。但し、ユニットは作動中安全信号を送りながら、機能し続けます。ユニットは、ボタンを押して、或いは車が動くことで、『起動します』。

黄色の動力織機には、5つのワイヤーがあります。白、青、グレーは、ショートアースしないよう、或いは互いにショートしないよう、互い違いに切り込みを入れるか、熱収縮させるか、或いはテープで貼らなければなりません。赤と黒は以下の通り使用します：

### 接続見取り図

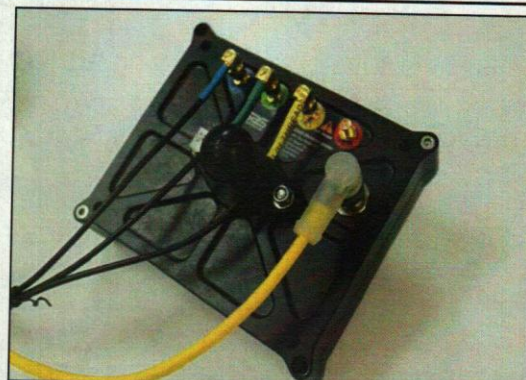


RALLYSAFE 12V 配線見取り図

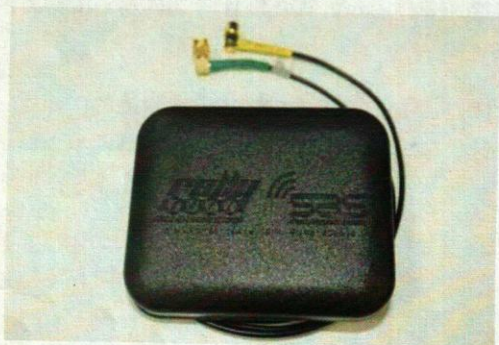
## 組立並びにアンテナのリード



標準ユニット。注：すっきりと障害物のない状態のユニットと空中線



全ての空中線と電線を接続させた状態のユニット背面。



最低 300mm の RallySafe パワーサプライケーブルとアンテナリードを、ユニット接続用に組立ブラケット位置に残してください。



アンテナリードは、次の通り接続されています(リードのタイプや数によって異なる場合があります)。

- 1 WI-Fi リードは、青に色分けされ、RallySafe ユニットでは『Wi-Fi』のラベルが付いた端末に接続されています(右ねじ)。端末はユニット側或いは背面にあるか、若しくは青く色分けされています。青い無線アンテナリードが2つ(外付アンテナに1つ、内臓アンテナに1つ)ありましたら、内臓アンテナのリードを利用してください。将来利用できるよう、予備の外付アンテナをきちんと巻き、収納してください。
- 2 衛星通信アンテナ用リードは、『IRI』のラベルが付いた端末中央或いは背面に接続されています(左ねじ)。黄色に色分けされています(2-in-1 アンテナでは色別されていません)。
- 3 『GPS』のラベルが付いた GPS アンテナのリードは、RallySafe ユニット上『GPS』のラベルが付いた端末に接続されています(右ねじ)。端末はユニット側か背面にあるか、もしくは緑に色分けされています。
- 4 オプションの GSM には、RallySafe ユニットと納品される小さなスティック・アンテナがあり、RallySafe ユニット上『GSM』のラベルが付いた対応する端末に接続されています(左ねじ)。端末は、ユニット側か背面にあるか、もしくは赤に色分けされています。

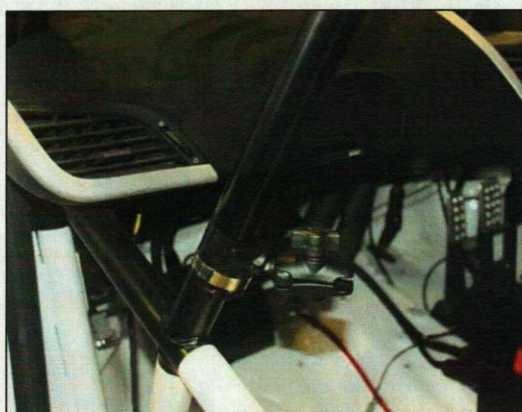
## ユニット組立 & 寸法

RallySafe ユニットの組立方法としては、3mm のアルミのバックングプレートを持つダッシュボードからボルトで締める、ボール付 RAM 方式 50mm x 75mm フラットベースをお勧めします。中央の保護された位置に組立、ドライバーとコ・ドライバー（ナビゲーター）の双方から見やすく、アクセスしやすくしてください。お勧めする組立方法と位置の写真につきましては、以下をご覧ください。

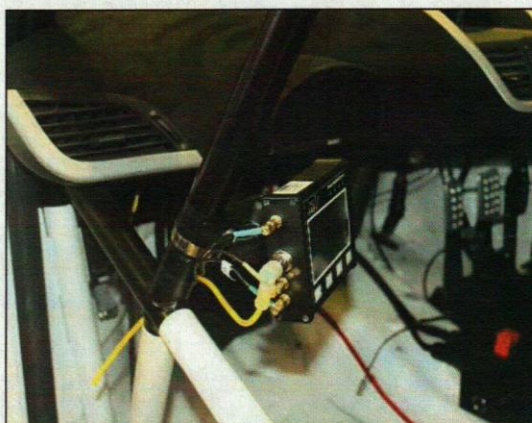
RallySafe ユニットの組立方法は他に、コ・ドライバー側前方脚ロールケージ上、ボール並びにコネクター締め具付直角ロールケージ・ブラケット上となります。(前後の写真にも表示)。

RallySafe ユニットの、周辺視野が画面の警告や通知をとらえられる垂直方向に組立てるようにしてください。ユニットを見れるようにしてもらいたいと望むドライバーもいれば、コ・ドライバーに画面を見させ、必要な安全信号を出させたいと思うドライバーもいます。

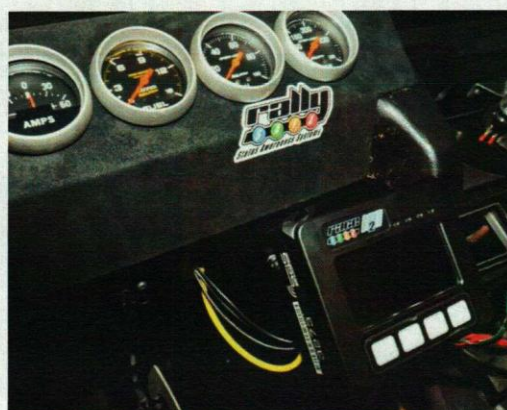
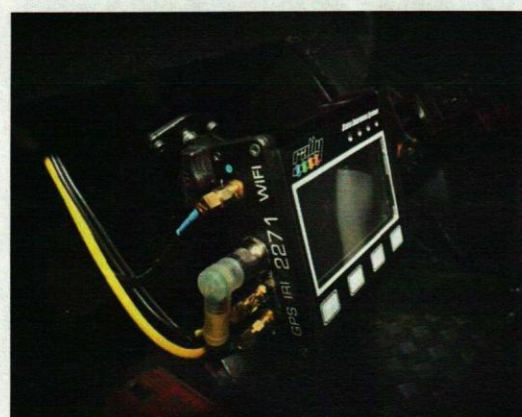
### 組立例



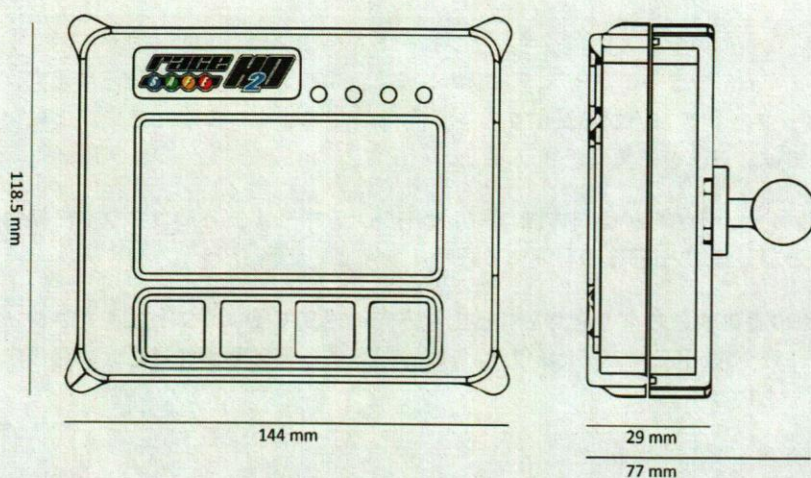
ここで、25mm ゴムボール台がロールケージの A ピラーに安全に付けられます。



そして RallySafe ユニットが 25mm のゴムボール台に組立てられます(RallySafe コネクターから取付)。



## ユニット寸法



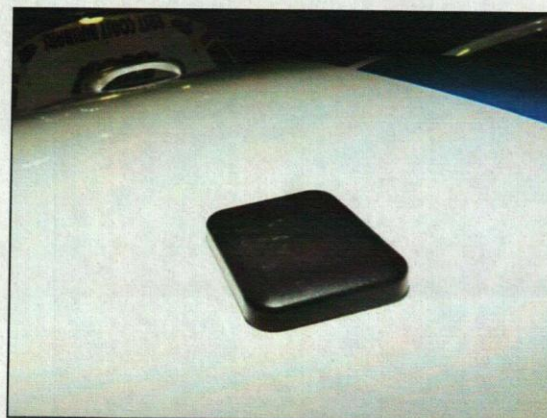
## アンテナ設置

内外アンテナのリードは全て、全てのロールケージバーの裏側を通らなければなりません。これは、衝撃でケーブルがクラッシュするのを防ぐためです。推奨経路は、アンテナから下方へロールケージの直近部分（ルーフクロス或いはメインフープ）より、ルーフのフープ沿いに進んだ後、Aピラー内部をユニット方向へ下るものです。余分なケーブルは、半径 100mm よりもきつく曲がらないように巻いてください。ダッシュボードの下側を横切って後ろで巻くようにしてください（狭い輪の中で巻かないでください）。ケーブルは、誤って挟まったり、外れたりしないよう、取り付けユニット全体にわたってきちんとユニットに固定してください。これは全て車検でチェックされ、貴方の車がパスする前に固定する必要があります。

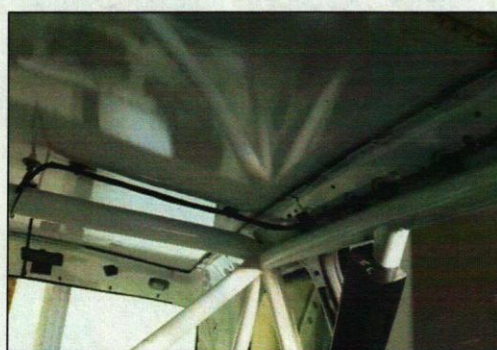
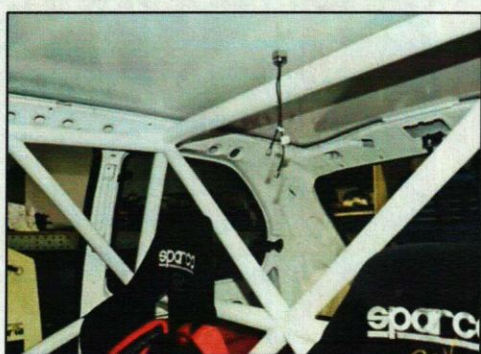
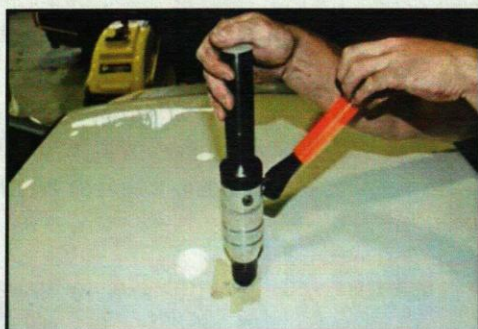
### ボルト付けアンテナ (推奨):

アンテナは車両のルーフの中央部、12mm の穴から取り付けます。なるべくメインロールバーフープより 50mm 前方で配線がルーフを通り、ケージバーが RallySafe ユニットの位置まで続くようにします。アンテナは、ルーフの表面ではじく完全な耐水ユニットとなっています。

特別な状況下では、ルーフからの穴を必要としない一時的な貼り付けアンテナを発注できます。但し、通信状態を極めて高めますので、標準的な 2-in-2 アンテナのご利用を強くお勧めします。



## ボルト付けアンテナ向け段階別工程



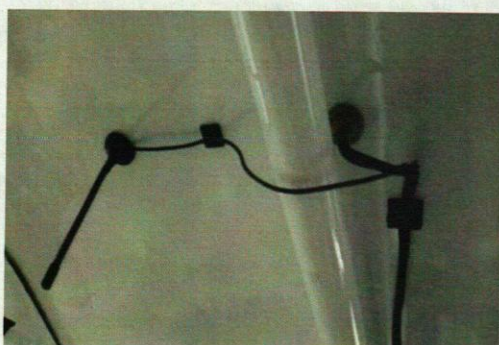
## 貼り付けアンテナ (代案):

アンテナを車両のルーフに、なるべく配線がドアシールを通り、Rally Safe ユニットの位置までケージバーが続くように、最終 Rally Safe ユニット組立位置にすぐケーブルが届く範囲に取り付けます。アンテナは、ルーフ表面ではじく完全な耐水ユニットとなります。配線は、車の外側に対して適切にテープ止めし、保護する必要があります。

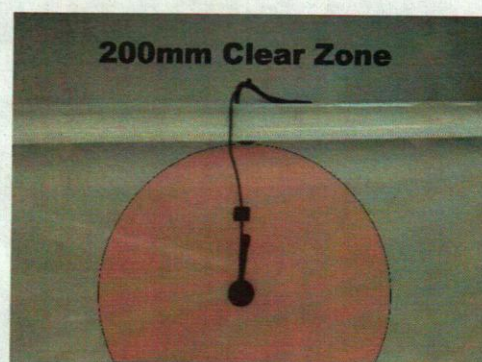


## 内臓 Wi-Fi:

内臓 Wi-Fi は、バーが設置してない、或いは固形の金属物のない半径 200mm 以上の片付いて整頓された場所、ルーフの内側に置いてください。内臓 Wi-Fi アンテナには、接着用両面テープの付いた磁石盤があります。ケーブルは Rally Safe ユニットに巻かれます。**事故の場合に押しつぶされないよう、ケーブルをロールケージの裏側に置いてください。**このアンテナの位置づけや組立が悪いと、対車機能、即ち『Push to Pass 安全警告』機能等が落ちることになります。これもまた、貴方の外付アンテナに損傷が生じた場合に、他の車両経由で競技会本部に自分の安全状況を伝えるのに重要です。



ここでアンテナを屋根の内部中央に貼り付けます(推奨)



内臓アンテナはいかなるロールケージ部品からも 200mm 離してください。

## ユニットの電力消費表 & 仕様

パワーケーブル導線仕様		12 ボルトでのユニットパワー消費	
導線数	5	移行モードにおける電力	.200A
外部直径	2.5mm	移行モードにおける電力-充電	.300A
素材	銅	出力低下-スリープモード	.002A
電流定格	5A	稼働中の送電事故	.250A

## お問い合わせ

### STATUS AWARENESS SYSTEMS

14 Short St, Ulverstone

Tasmania, 7315

AUSTRALIA

Phone: +61 3 6425 7003

Email: [contact@rallysafe.com.au](mailto:contact@rallysafe.com.au)



# Rally Safe

## Functionalities Overview

### 機能一覧

Standard Functions 標準的な機能	Detail 詳細
Transit Screen 通過スクリーン	Displayed throughout the event in transport stage 移動区間をイベント中、常に表示
Race Screen レーススクリーン	Displayed whenever vehicle 1 is in competition 車両が競技中にある場合、表示される。
Push to Pass 追い越し警告ボタン	Warns slower forward cars that you intend to overtake 前方を行く遅い車に追い越しの意思を示す。
Slow Car スローカー警告	Warn oncoming drivers that a vehicle ahead has reached minimum speed 前方車両がスローダウンしていることを知らせる。
Hazard (Yellow Screen) 警告(黄色スクリーン)	Warns oncoming drivers that a vehicle ahead is stationary and is in a hazardous position. Distance to hazard is displayed 前方の車両が危険な位置に停止している場合、そこに至るまでの距離を表示する。
OK (Green Screen) OK (緑スクリーン)	Warns oncoming drivers that a vehicle ahead is stationary but not in a hazardous position. Approaching vehicles are safe to pass at current speeds. Distance to hazard is displayed 前方車両が停止しているが、安全を阻害しない位置にある場合で、後続車両が競技スピードで通過する事が出来る時に表示される、また停止車両までの距離を表示する
SOS (Red Screen) Flashing SOS (赤色スクリーン) 点滅	Warns oncoming drivers that a vehicle ahead is stationary, in a hazardous position and is in need of urgent assistance Distance to hazard is displayed 前方の車両が危険な位置に停止しており、緊急サポートが必要な場合で、そこに至るまでの距離を表示する。
SOS Acknowledged (Red Screen) Solid SOS認識(赤色スクリーン)表示	Warns oncoming drivers that a vehicle ahead is stationary, in a hazardous position and it has been acknowledged that assistance is required. Distance to hazard is displayed 前方の車両が危険な位置に停止しており、緊急サポートの必要性が既に認識されている場合、そこに至るまでの距離を表示する。
Timing タイミング	Timing unit has the ability to time from 1 sec to .01 sec depending on event requirements. Timing to .001 is in development Stage and race times can be viewed on screen イベントにより、1秒から0.1秒までの計測が可能。0.01秒までの計測については開発中でレースのタイムはスクリーンで確認可能。
Additional Functions 追加機能	Detail 詳細
Stalled car on grid Race safe only ストールした車両がいる場合のグリッドレースでの安全	Warns cars of stalled vehicle ahead and displays distance to the vehicle. Grid position can be displayed 前方でストールした車両までの距離を表示する。グリッドのポジションも表示可能
Flag signals フラッグシグナル	Any flag signals can be displayed automatically or manually by race control. Can include Red flag or Abandon Race レースコントロールからフラッグシグナルを自動又は手動で表示させる事が可能。赤旗やレース中止なども表示できる。
Speed restrictions スピード制限	All forms of speed restrictions are displayed and logged from Restart speed post safety car to pit lane speeds etc 全ての形式のスピード制限を表示する事が出来、セーフティーカー退避後の再スタートスピードからピットレーンスピードなどまで記録することが出来る。
Max Speed 最高速度	Warns competitor that they have reached or exceeded the maximum speed allowed for the event. This notification is logged to unit and can be reviewed for infringement identification イベントで認められている速度に達した、もしくは超過したコンペティター警告する。この警告はユニットに記録され、違反検証に使用する事が出来る。
Virtual Footage 仮想記録	Virtual footage of vehicles 1 available 車両の仮想記録を使用する事が出来る。